

平和が続くために

中沢中学校 田島 世莉奈

「平和」ときいていくつか言葉が浮かんできました。いじめ、差別、けんかなど。その中で一番最初に思いついたことは戦争です。今、世界では戦争をしている国があります。私が生きている今、戦争がおこっています。正直戦争なんて昔のことで、今はもう起こることはないと思っていたので始まったときはびっくりしました。

戦争っていうけど、戦争とは実際になんなんだろうなと考えました。空に飛行機がいて、爆弾が飛んできて、建物がこわされる。人が銃をうって人を殺して人が死んでいく。そんな情景なのだと思いますけど、非現実的に思えてしまいます。戦争とは想像もできないくらい信じられないものなのでしょう。そんな中に自分がいたら自分はどうするんだろうとも思いました。多分、きっと怖くて動けないし、もし仮に助かったとしても一生戦争をうらみ続けると思えます。自分の人生をこわされて黙っているはずがないと思います。そんな町も人もかえてしまうものが戦争だと思いました。

また、戦争について考えている中でテレビでみた一人の少女のことを思い出しました。その少女は戦争の中で避難した防空壕で、同じように避難していた人を勇気づけるために、歌を歌っていました。そこで歌っていた歌を日本のテレビでも歌っていました。とても美しい歌声だったけど、八歳の少女が母国のために、立ち上がって歌っているのは少し残酷だなと思いました。まだ八歳で私たちより年下の子で、私たちとなんにもかわらない子が母国を背おって歌っている。その少女もその国に住んでいる人々は悪くないのに、国と国の間のじ情にまきこまれて本来とは違う未来になっているのをみて戦争って本当になんなんだろうなと思いました。

戦争について考えてきて、平和とはなんなんだろうなと改めて思いました。戦争は人の命を奪うものであり、ずっと緊ぱくした状況が続くもの。心をやすらげないもの。なので他の平和もあるとは思いますが、人の死と心をおびやかさないことが、一つの平

和ではないのかなと思います。戦争だけではなく、生活の中で自分自身が心のそこから休めることが平和につながると思います。

私は今、平和です。ボーッとしているとそんなふうに感じます。毎日が変わらず穏やかに過ぎていきます。そういう変わることがないことも平和を守るために必要だと思います。変わらないと思っていた、あたりまえのことが変わることが平和がくずれることだと思います。

世界は今、医療技術の発達や人工知能の普及などで進化し続けています。昔とは比べものにならないほど、色々な研究も進み、色々なことが新しくなる、もしくはなろうとしています。しかし、色々なものが進化し便利になり変わっていくなかで変わってはいけないものもあると思います。それをずっと守っていくことがこれから大切になると思います。変わっていく時代の中でなみにのまれず、ずっといつづけることが必要だと思います。

これからもずっと穏やかで「平和」な日々が続くことを願っています。